

令和5年度 第4回湖西市水道事業経営審議会 議事要旨

1. 日 時：令和5年11月6日（月）13：30～15：30

2. 場 所：湖西市役所 3階委員会室

3. 出席者

委員長)

愛知大学地域政策学部 教授： 菊地 裕幸 氏

委員)

豊橋技術科学大学大学院工学研究科建築・都市システム学系 教授： 井上 隆信 氏

一般社団法人地方公会計研究センター 理事： 玉澤 一雄 氏

税理士法人ヤマダ会計 代表社員： 山田 義之 氏

湖西市自治会連合会 会長： 板倉 福男 氏

事務局)

湖西市環境部水道課

株式会社東京設計事務所

4. 概 要

1) 議事要旨

事務局から配布資料についての説明が行われた後、検討内容に対する意見交換を行った。主な内容は下記のとおりである。次回以降、委員から頂いた意見を踏まえ、料金改定計画書案を提示することとなった。最後に、事務局から次回開催について1月15日を予定していることを連絡し、閉会した。

委員名については敬称略とする。

①資料に対する質疑応答

1. 財政シミュレーション見直し結果（資料1 P4～P10）

2. 料金改定シミュレーション（資料1 P11～P19）

委員 P13以降で、5年毎に料金改定が必要ということは記載すべきであるが、この資料においては5年後までの表示であるため、5年後とすべきではないか。

事務局 ご指摘のとおりである。

委員 P10、P18 総括原価の算定について、5年累計額という理解でよいか。

事務局 5年累計額である。

- 委員 P19 料金改定率について、4 ケース示されており、内部留保資金目標額が確保され、より負担が少ない改定率 10%の採用は納得できる。
- 委員 P7 資産維持費について、7 月に厚生労働省から、資産維持費を見込むことと通知が出されていることは承知している。民間の方は資産維持費の理解が難しいため、もう少し説明が必要と思う。減価償却費と資産維持費の違いを明確にすべきではないか。資産維持費相当額を見込むという文言になっているが、資産維持率は何%となったのか。
- 事務局 物価上昇率を見込んだ結果、資産維持率に割り戻すと 1%程度と算定される。湖西市の場合は、湖西市新水道ビジョンを策定しており、これをベースに必要な経費を見立てていることから、それに対して物価上昇分を見込んで計算している。
- 委員 5 年毎に料金見直しを検討するという説明であったが、1 回目の改定率が決まる前に 2 回目の改定率の数値を示した意図を教えてください。
- 事務局 今回の財政シミュレーションは 2033 年度まで行っている。水道料金は 3 年から 5 年で料金改定するものと示されている中で、5 年ごとの見直しとして、2025 年度の改定率を設定した場合の次の改定率を目安として示したものである。湖西市として、水道料金は一定ではなく、定期的に見直しを行うことを意思表示したものであり、市民の皆様に周知していきたいと考えている。
- 委員 2030 年度において、もう一回料金改定があるということ、市民に対して周知したいのか。
- 事務局 水道料金の定期的な見直しをするということを知りたい。今回 5 年後として、2030 年度を示しているが、今後の経済状況等により、5 年に関わらず見直しが必要になる可能性もある。
- 委員 今回のシミュレーションにおいて、物価上昇率 2%としている。ここに関しては、物価上昇が止まればここまで必要ないし、もっと上がればさらに上がる可能性もあることから、数値の取扱いには注意して、物価上昇や施設の状況により変わるということを随時発信していただければと思う。
- 委員 給水収益と総括原価は 100%を超える予測となっているが、100%を超える設定にした理由はあるか。
- 事務局 湖西市ではこれまで企業債を起債していない。今後は企業債を工事に対して 50%借りるシミュレーションとしており、企業債を活用しつつ借り過ぎない形とするため、100%を超える設定としている。

- 委員 P12 料金改定シミュレーションの条件について、4つ記載されている。それを基にシミュレーションを行った結果、料金改定率 6%、8%でも内部留保資金は目標額に届かないが、それなりに確保しているように見える。8%未満ではだめなのか。
- 事務局 内部留保資金の目標額は、P12 の通り日常の運転資金や災害時に対応するために必要な額を、令和 3 年度湖西市新水道ビジョンで定めている。改定率が低いと内部留保資金の目減りが早くなり、将来の世代に負担を先送りすることになる。また、内部留保資金がない場合、企業債を借り入れるしかなくなってしまう。このような理由で、内部留保資金目標額の確保を目指したい。
- 委員 世代間公平の観点から、ということは理解した。ただし、近年物価上昇等により市民生活が厳しくなっているため、本委員会ではそのあたりも考慮したい。

3. 次期料金設定・料金表の検討（資料 1 P20～P36）

- 委員 P21 の設定案①は、基本水量を廃止し基本料金を据え置きと記載されているが、P22 において基本料金が据え置きになっていないため誤りか。
- 事務局 基本水量を廃止した分の基本料金を下げない場合という意味で記載していた。基本料金を改定率を乗じていることから、表記を修正する。
- 委員 P22 以降で、料金改定 5 つのパターンあるが、いずれもトータルの改定率 10%となるように調整しているのか。
- 事務局 改定率は、収益全体の確保額について、改定前後の割合を 10%として設定している。口径ごとでは使用水量によって差が生じることから、収益の確保に対する率と捉えていただきたい。
- 委員 P27 に表記されている使用料金は、10%上がっていることになるのか。
- 事務局 それぞれの水量で 10%値上げになっている訳ではなく、実績の使用件数と水量から今後の水量等をシミュレーションした上で、収益全体の徴収額を 10%上げる設定としている。使用水量に応じて水量単価も異なることから細かい計算をしており、それぞれの使用水量の場合をみると異なる部分がある。
- 委員 13mm と 20mm の基本料金は統一が望ましいと考える。今後の課題であると思うが、将来的にはということに記載していただきたい。また、今回の料金表の検討で、口座振替・クレジット利用者、検針票 SMS 利用者へトータルで 110 円減免としているが、総括原価に 110 円は加味されているか。その他に、これを行うことによるコスト増も加味されているか。

事務局 料金シミュレーションにおいて、110円引きを加味している。湖西市として、納付書払いの方がより費用がかかることから、口座振替・クレジット利用に誘導したい。また、検針票もSMS配信により、かかる経費を削減したい。第3回資料において、経費のシミュレーションの金額を示しており、総括原価に見込んでいる。

委員 前回審議会で話があった、SMSの利用者率は改善されているのか。

事務局 令和9年度に100%を目指しており、料金算定期間におけるSMS利用者率は平均で50%を見込んでいる。今年4月から市内全域で利用可能となっており、現在のSMS利用者率は10%程度となっている。今後、料金改定と合わせて減免を周知する予定で、SMS利用者は増える見込んでいる。

委員 P28で料金改定の基本方針を満たす案は設定案③④⑤とあり、①②が除外されているが、その理由について説明してほしい。13mmと20mmの格差低減の条件を満たしていないので、①②を外しているという理解でよいか。P30の基本料金、従量料金の割合グラフについて、他市町は基本料金比率が高いところもあるように見えるが、基本料金比率を引き上げなくてよいのか。

事務局 設定案①は基本水量を廃止したことにより、基本料金を値下げしないものである。設定案②は基本水量分を基本料金から差し引いており、格差低減策はとっていないものである。設定案①②は格差低減をしていないため除外としている。また、設定案⑤は13mmの負担が増大することから、選定案から外した。現在13mmと20mmの基本料金に格差がある状況であり、いずれは同じにする方針であるが段階的に検討していきたい。

委員 設定案③④ともに基本料金の割合が下がり、従量料金の割合が上がっている。口径13mmの場合、基本料金が近隣市町と低く、20mmは高いように見える。

事務局 P30基本料金・従量料金の適正比率は、湖西市の水道にかかる費用から算定しており、市の事情を踏まえた比率を算定したものである。

委員 設定案③、設定案④について、13mm、20mm以外の基本料金もばらつきが出てくる。25mm以上の設定について、もう少し説明や表現の工夫が必要ではないか。

事務局 湖西市では13mm、20mmの使用者が8割程度であり、基本水量をなくす方針で検討した結果、25mm以上は20mm以下の設定に応じて変動することとなっている。25mm以上は負担増額分が大きい金額になることからご理解いただきたい。

委員 水道が拡大するときには設備投資をするため、大口需要者に高い負担を強いる水道料金体系になっているが、昨今の使用量が減少し維持管理の時代では、多く使っている利用者の単価は高額となっている事情がある。本来、単価は同じであるべきことから、大口があまり高くないように、値下げして使用水量を増やしていた

事務局 だきたい。そういう意味では、今回改定率が 10%よりも低いことはよいのではないか。将来的に、大口の料金体系をどうするかは、市の方で今後考えていただきたい。また、湖西市の料金は他市町と比較して、高いため説明をしっかりとしてほしい。今後、市が安全安心な水を供給するために、施設・管路の更新を行うこと、費用がかかっている理由を明確にしたうえで、料金改定の必要性を訴えていきたいと考えている。

委員 湖西市は他市町と比較すると全体的に料金が高いという現実がある。それに対して、さらに値上げせざるを得ない理由をしっかりと市民に説明していただくことが円滑な値上げに繋がると思う。

委員 P36 次期料金設定・料金表の考え方について全委員に諮った結果は次のとおり。

- (1) 料金改定率 10%を採用案とすることについて、異議なし。
- (2) 口径 13mm、20mm の基本水量を廃止することについて、異議なし。
- (3) 口径 13mm、20mm の格差低減した設定案④を採用案とすることについて、異議なし。
- (4) 口座振替・クレジット利用者、検針票 SMS 利用者へ減免することについて、異議なし。

②次回検討会に向けた要望等

委員 私は水道の維持管理等の工学が専門の立場であるが、昨今値上げ等があり、水道だけでなく橋など色々なものが老朽化している中で、その費用を誰が負担するか、どう維持管理するか非常に問題になっている。その中で、湖西市が料金を値上げして、維持するという意思表示をしていただいたことに感謝している。これにより、将来的に極端に利用料金が増えることなく、維持管理を進められるのではないかと期待している。

委員 多くの自治体で料金改定の話を受けている中で、湖西市の改定率は決して高くはない。ただ、元々の料金が高く、改定が負担にならないということはない。水道料金を上げれば、下水道も含めて受益者負担が増加することになる。今回の料金改定により、湖西市の水道として持続可能であると市民の皆様に説明し、ご理解いただき、円滑に進めてほしい。

委員 水道料金の値上げは一般市民にとってデリケートな問題であると考えている。世代間の負担について、原価割れしているものを、今見直して現役の世代が負担し、将来に負担を残さないということを、よく説明すると納得いただけるのではないかと

委員 安定した水道事業を続けていくためには、ある程度値上げをせざるを得ないということ痛切に思う。しかしながら、市民にとっては、少なからず負担となることから、なぜ値上げが必要かもっとしっかりと市民に説明していただければと思う。

委員 昨今の社会経済情勢を鑑みて、市民の生活は非常に厳しい。それを十分に勘案した上で、値上げをせざるを得ない理由を市民にしっかりと説明して、説明責任を果たすことが重要と考える。口径によって値上げ率に違いが出るということに関して、次回、増のグラフを見せていただきたい。

以 上